

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

緊急連絡に備え、「はなまる連絡帳」に是非ご登録ください
大雨や台風、地震などの自然災害、不審人物などの出没などにより、「登校・下校時刻の変更」や、場合によっては「下校を見合わせ学校待機」などの緊急連絡が必要な場合も考えられます。迅速に確かな情報を確実にお届けできるよう、「はなまる連絡帳」に登録をなされていない方は、是非ご登録ください。



はなまる
連絡
帳の
QR
コード

熱中症の予防

梅雨入りし、気温に加え湿度の高い日も続きます。熱中症予防のためにも、次のことをご確認ください。放課後や学校が休みの日の過ごし方も含め留意点を記載しています。

- ①こまめな水分補給（のどがかわいていなくても飲む。汗をたくさんかいたら塩分も補給する。）
- ②30分に1回休憩（体温を下げるために休む。エアコンや日影を効果的に利用する。）
- ③服装に気をつける（薄着で風通しのよいものを。帽子も大切。）

※栄養・睡眠・休養を十分にとり、規則正しい生活が何より大切です。

また、台風や高気圧などの影響により、暴風、大雨、高温も心配されます。気象情報に気を配りながら、早めの対策を行いたいものです。

祇園歴史の旅（その42）「戦前は高天町、戦後は戸尾市場～実体験の20年の私記録～」（その4）

中部地区町内協議会設立25周年記念誌（平成20年発行）、佐世保史談会会員の筒井隆義さんの記念エッセーより抜粋。「戦後娯楽の代表となるパチンコも、シューズセンター通りに2、3軒。それも当初は1軒に10～20台機器を置いた素朴なゲーム式で、スマートボールやピンゴゲームと共に、子供も遊べるものでした。やがてオール10、20と射幸心をそそるものとなり、四ヶ町の表通りから地域の商店街にと広がります。昭和33年、売春防止法施行。勝富町は昭和27年、山県町から引越してきて6年でその灯を消し、料亭旅館として再生の歩みを始めます。一方の花園遊郭は、花園中用地ほか焼土を占領軍に接収され、太田町、宮地町、熊野町も含めた名切谷全体が米軍住宅地として日本人オフリミットでした。

昭和38年、辻一三氏が市長に当選。翌39年米原子力潜水艦の日本初寄港を契機に名切谷返還運動が盛り上がり、今日の緑したたる中央公園となります。また、旧光園小跡地の高台は米軍の子供のドラゴンスクールとなっていました。返還後地方裁判所、検察庁支部となりました。もう一つ、現体育文化館の地は要塞司令部の解隊後、干尽の競輪場にあった野球場を移転する用地となり、昭和24年4月に竣工、プロ野球オープン戦などで賑わいました。名称は市民グラウンドでした。

地域の歴史は、連続と受け継がれてきた住民の暮らしそのものです。各人の胸の中に残る思い出の地に立てば、過ぎし日が脳裏によみがえります。嬉しかったこと悲しかったこと。亡き父母や友人、知人の笑顔、涙、ぬくもりと共に、今を生きて在るみんなの心の中に宿り続けています。そして、私たちの子や孫が、またこの地で暮らしの日々を持ち、あるいは新しい住民が訪れるでしょう。生々流転、世の中は変化して止みません。しかしながら、そこに住む多くの人が、この地に住んでよかったと、心の底から思えるような地域にすること。それは住民一人一人の肩にかかり、共同体としての中部地区町内協議会の役割でもあります。」（終わり）

次号からは、佐世保市教育委員会編集・発行 小学生向け歴史教育副読本『ふるさと歴史めぐり』2016年 第6版から引用し、祇園小学校校区及びその周辺の歴史を旅します。ご期待ください・・・。